

令和6年度第2回 監査機関同士の意見交換 概要

1 開催日時

令和6年11月25日（月）午前11時15分から11時45分まで

2 場所

（公財）東京都スポーツ文化事業団事務局共用会議室

3 出席者

- ・監事 中山 正雄、飯塚 幸子
- ・EY 新日本有限責任監査法人 業務執行社員 小野寺 勝 ほか
- ・デフリンピック準備運営本部監査室 塩田 孝一 ほか

4 概要

監査室から「令和6年度内部監査報告書（案）」及び「令和7年度内部監査スケジュール（案）」等について説明し、三者で意見交換を行った。主な意見は以下のとおり。

- ・大会本番を迎える来年度に向けて、業務優先でルールを守らないことがないように、研修等による事前の意識づけの徹底や監査による抑止の両輪の体制が必要である。
- ・協賛等については、利害関係や利益相反との観点から監査を実施すべきである。
- ・外部からの人材など異なる組織文化を持つ職員の増加等を踏まえ、悉皆研修の実施や受講状況等を引き続き確認されたい。
- ・大会終了までが監査の対象期間であるという意識で、大会期間中の業務についても、確認をお願いしたい。
- ・組織内の風通しの良さとともに、通報窓口等未然にキャッチアップできる体制があれば、不祥事の早期発見、早期対応につながる。

意見交換の結果、

- ・本日いただいた御意見はデフリンピック準備運営本部内で共有し、1月までに内部監査報告書を公表する。
- ・各監査において気づきや懸念点等があれば共有する。
- ・次回の意見交換は来年3月頃に実施予定などを申し合わせた。